

目標に準拠した観点別評価に基づく、単元(題材)全体を見通した授業計画
—経済生活を営む ケータイから見える社会—

家庭科「家庭基礎」学習指導案

大阪府立高槻北高等学校

第1学年〇組 平成25年〇月〇日(〇)

第〇校時

場所 HR教室 指導者 指導教諭

教材 (単元)	家族・社会との共生 経済生活を営む		教科書名 出版社名	「家庭基礎」自立・共生・創造 東京書籍	
題材の 目 標	○消費行動と意思決定、消費者の権利と責任などに関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。 〔関心・意欲・態度〕 ○消費生活についての課題を見だし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、表現している。 〔思考・判断・表現〕 ○自立した消費者として、消費生活に関する情報を収集・整理するなどの技術を身に付けている。 〔技能〕 ○消費行動と意思決定、消費者の権利と責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて責任をもって行動できるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。 〔知識・理解〕				
題材の 評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	・消費行動における意思決定の過程について、具体的に考えようとしている。 ・消費者の権利や消費者支援制度に関心をもち、学習に取り組もうとしている。	・財・サービスに関する情報を入手するために、生活情報の特徴や課題について考え、工夫している。 ・財・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめたり、発表したりしている。	・財・サービスの選択に際し、生活情報を収集・整理することができる。	・流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。 ・消費生活の変化と現状、契約、販売方法の特性など消費者問題発生の社会的背景を理解している。 ・消費者の権利と責任、自立した消費行動のための支援について理解している。	
題材の 指導計画	経済生活を営む—ケータイから見える社会 (全5時間) 第1時 商品の情報を収集しよう 第2時 商品を販売してみよう 第3時 商品の購入について意思決定をしてみよう 第4時 契約について学ぼう 第5時 消費者問題の社会的背景や消費者の権利と責任について考えよう				
本時案 (計画 第3時)					
本時の 目 標	・商品・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめている。 〔思考・判断・表現〕 ・流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。 〔知識・理解〕				

時間	学習活動（生徒）	指導上の留意点（指導者）	評価規準・評価方法
導入 5分	前時に模造紙にまとめたものを、消費者にわかりやすく発表する方法を検討する。	- 販売に当たり、消費者へ特にどの点をアピールするかを検討させる。 - 消費者の購入意欲を刺激する発表を考えさせる。	
展開 1 10分	各班それぞれ順番に発表する。発表以外の生徒は、消費者としてどの商品を購入したいかを検討する。	随時、ワークシートにメモを取らせる。全ての発表を聞いた後に、どのグループの商品を買いたいと思うか、理由とともにワークシートに記入させる。	
展開 2 10分	- 自分がもし買うならと想定し、全ての発表の中から、一番買いたいと思った商品を選択する。 - プリントの「意思決定の木」に書きこみ、商品購入の際に考える必要があることを抜き出す。 - 選んだ理由についても記入する。	- 各自ワークシートの「意思決定の木」に記入しながら、商品選択の観点を比較・検討させる。 - 不足の生活情報がないか問いかけ、あれば記入させる。 - 普段何気なく購入しているつもりの商品も、様々な情報の中から個々人が観点を絞り、選択していることに気付かせる。	商品・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめている。 〔思考・判断・表現〕 （ワークシート）
展開 3 10分	グループで、自分の判断を紹介し合い、商品選択のポイント、選択理由、不足の情報について交流する。	- いくつかのグループを指名し、商品選択のポイント、選択理由、不足の情報等について、それぞれの考えを共有させる。 - 生徒の意見の中から、質・価格以外に安全性・機能性・耐久性・操作性・環境への影響などについて触れているものを取り上げ、生徒の商品選択の観点が広がるようにする。	
展開 4 10分	様々な意見や考えを踏まえ、もう一度自分はどの商品を選ぶのか、その理由は何かをワークシートに記入する。	今一度、自分自身の判断を見つめ、適切な意思決定や消費行動の在り方について考えさせ、売り手の意図にのせられない冷静な判断が必要なことに気付かせる。	商品・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめている。 〔思考・判断・表現〕 （ワークシート）
まとめ 5分	本時の学習で「わかったこと」をワークシートに記入する。	次時は契約について学ぶことを予告する。	流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。〔知識・理解〕 （ワークシート）

題材「経済生活を営むケータイから見える社会」指導と評価の計画(全5時間)

時間	テーマ名、○ねらい Ⅰ 学習活動	評価規準・評価方法			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	商品の情報を収集しよう ○様々な情報の中から必要な情報を取捨選択する Ⅰ カatalogやインターネットからケータイの情報を収集する。			財・サービスの選択に際し、生活情報を収集・整理することができる。 (ワークシート)	
1	商品を販売してみよう ○流通の現状や販売方法、売り手の意図について考える。 Ⅰ 調べた情報を、買い手にわかりやすく、購買意欲をそそるように模造紙にまとめる。	消費行動における意思決定の過程について、具体的に考えようとしている。 (生徒観察、ワークシート)	財・サービスに関する生活情報の特徴や課題について考え、工夫し、まとめたりしている。(成果物)		
1	商品の購入について意思決定をしてみよう ○発表を聞き、適切な意思決定や消費行動によって意見を表明することが消費者の責任であり、売り手の意図に載せられない冷静な判断が必要なことに気付かせる。 Ⅰ 各班の発表を聞き、自分が買い手の立場ならどの商品を選ぶか考え、なぜ選択したか考えを深める。		商品・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめている。 (ワークシート)		流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。 (ワークシート)
1	契約について学ぼう ○ケータイを購入することに付随する様々な約束(契約)、契約で注意すべき点(リスク)やトラブルについて理解する。 Ⅰ ケータイを購入する場面やケータイで普段していること(できること)を思い出し、その一つ一つが契約であることを学ぶ。また、ケータイ使用にまつわる身近なトラブルからトラブルが起こる背景、注意点や解消方法について考える。				消費生活の変化、契約、販売方法の特性などから、消費者問題発生の社会的背景を理解している。 (ワークシート、定期考査)
1	消費者問題発生の社会的背景や消費者の権利と責任について考えよう ○ケータイ利用にまつわる消費者問題発生の社会的背景を理解した上で、消費者の責任を持った行動が権利の行使につながることを自覚させる。 Ⅰ 様々な消費者問題を知り、発生の要因を考える。消費者に関する法律を理解し、どのような行動が必要かを考える。	消費者の権利や消費者支援制度に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 (生徒観察)			消費者の権利と責任、自立した消費行動のための支援について理解している。 (ワークシート、定期考査)

消費行動と意思決定

各グループの発表を聞いて、メモしよう。

班	メモ	班	メモ

1 発表を聞いて考えよう。

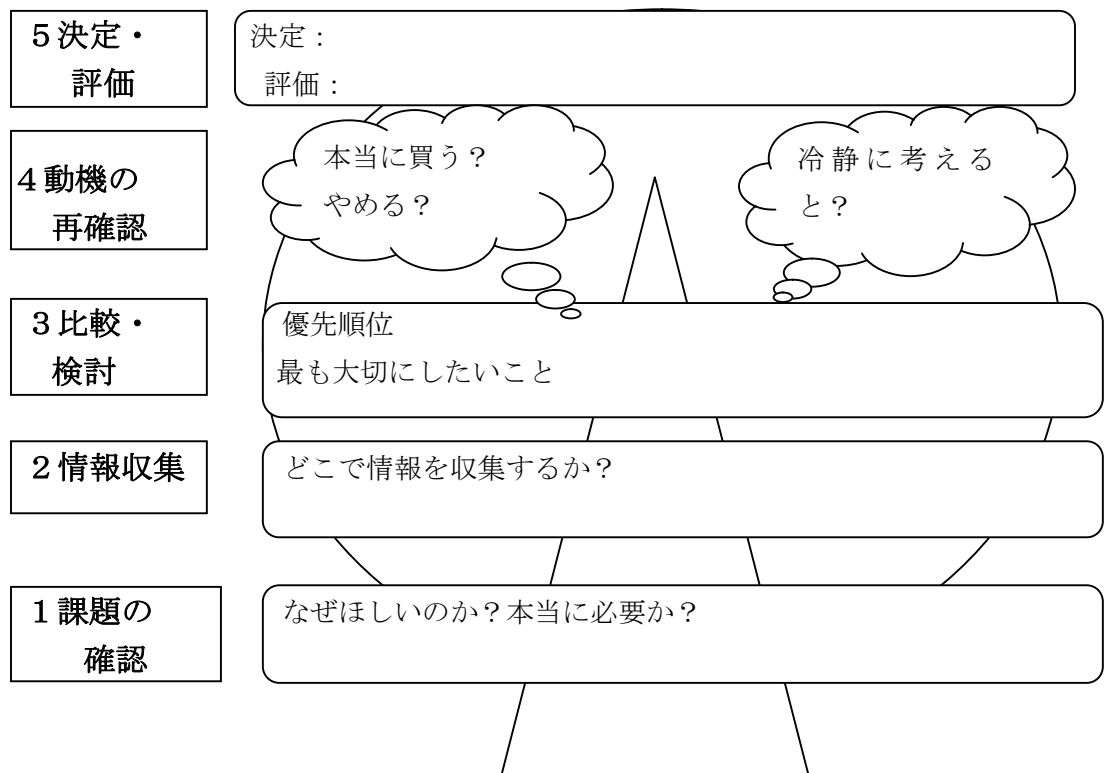
あなたはどの商品を買いたいと思いましたか？

その理由は何ですか？

思考・判断・表現

意思決定の木

*新製品のスマートフォンがほしい。高いけど購入したい



1 年 組 番 氏名

2 グループで話し合ってみよう。

グループの中でそれぞれが気に入った商品と、その理由を話し合おう。

グループで出た意見の中で参考になった意見を書きとめよう。

3 再度自分自身で考えてみよう。

最初に考えたのと同じ商品を選びますか？別の商品を選びますか？

選ぶ理由は？選ばなかった理由は？

思考・判断・表現

4 商品選択する際に、大切なことは何だろう？

思考・判断・表現

知識・理解

5 今日の授業を受けて気付いたこと・わかったことを書きなさい。

思考・判断・表現

知識・理解

はじめに

思考力・判断力・表現力を育む授業 と学習評価の工夫

大阪府立高槻北高等学校
指導教諭 中島美保子

題材:「経済生活を営むケータイから見える社会」 指導と評価の計画(全 時間)

題材の 評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	- 消費行動における意思決定の過程について、具体的に考えようとしている。 - 消費者の権利や消費者支援制度に関心をもち、学習に取り組もうとしている。	- 財・サービスに関する情報を入手するために、生活情報の特徴や課題について考え、工夫している。 - 財・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめたり、発表したりしている。	財・サービスの選択に際し、生活情報を収集・整理することができる。	- 流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。 - 消費生活の変化と現状、契約、販売方法の特性など消費者問題発生の社会的背景を理解している。 - 消費者の権利と責任、自立した消費行動のための支援について理解している。

なぜ経済でケータイをとりあげたか？

- 生徒の98%が携帯電話を所持。
- 関心は高いが、自分で意思決定し、購入しているのか？
- 購入する際の観点は？
- 契約や消費者の権利や義務を理解しているか？

時間	テーマ名、 ○ねらい ● 学習活動	評価規準・評価方法			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	商品の情報を収集しよう ○様々な情報の中から必要な情報を取捨選択する ● カタログやインターネットからケータイの情報を収集する。			財・サービスの選択に際し、生活情報を収集・整理することができる。(ワークシート)	
1	商品を販売してみよう ○流通の現状や販売方法、売り手の意図について考える。 ● 調べた情報を、買い手にわかりやすく、購買意欲をそるよう模造紙にまとめる。	消費行動における意思決定の過程について、具体的に考えようとしている。(生徒観察、ワークシート)	財・サービスに関する生活情報の特徴や課題について考え、工夫し、まとめたりしている。(成果物)		
1	商品の購入について意思決定をしてみよう ○発表を聞き、適切な意思決定や消費行動によって意見を表明することが消費者の責任であり、売り手の意図に載せられない冷静な判断が必要なことに気付かせる。 ● 各班の発表を聞き、自分が買い手の立場ならどの商品を選ぶか考え、なぜ選択したか考えを深める。		商品・サービスの購入の際の主体的な意思決定について考え、まとめている。(ワークシート)		流通や販売方法の現状、生活情報の活用など、消費行動における意思決定の重要性を理解している。(ワークシート)

1	契約について学ぼう ○ケータイを購入することに付随する様々な約束(契約)、契約で注意すべき点(リスク)やトラブルについて理解する。 ● ケータイを購入する場面やケータイで普段していること(できること)を思い出し、その一つ一つが契約であることを学ぶ。また、ケータイ使用にまつわる身近なトラブルからトラブルが起こる背景、注意点や解消方法について考える。			消費生活の変化、契約、販売方法の特性などから、消費者問題発生の社会的背景を理解している。 (ワークシート、定期考査)
1	消費者問題発生の社会的背景や消費者の権利と責任について考えよう ○ケータイ利用にまつわる消費者問題発生の社会的背景を理解した上で、消費者の責任を持った行動が権利の行使につながることを自覚させる。 ● 様々な消費者問題を知り、発生の要因を考える。消費者に関する法律を理解し、どのような行動が必要かを考える。	消費者の権利や消費者支援制度に関心をもち、学習に取り組もうとしている。 (生徒観察)		消費者の権利と責任、自立した消費行動のための支援について理解している。 (ワークシート、定期考査)

思考を深めるために

- ・ 意思決定の木を考えさせる。
- ・ 各班で考え、発表する。
- ・ 発表を聞いて、自分の判断を行う。
- ・ 班ごとに意見交換する。
- ・ 再び自分の考えをまとめ、判断する。
- ・ 感想をまとめる。



思考を深めるために 2

各班で考えて発表



班ごとに意見交換



おおむね満足できる状況(B)



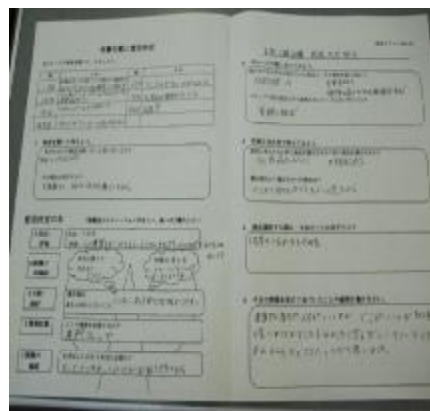
【評価規準】

商品購入の際の主体的な意思決定について考えをまとめている。

【わかったこと・気付いたこと】

- ・ 商品選択には、慎重に選び、計画的に購入することが大切だ。
- ・ 人それぞれ優先するところが違うので、自分は何が一番優先するのかをしっかりと考えようと思った。

十分満足できると判断される状況(A)



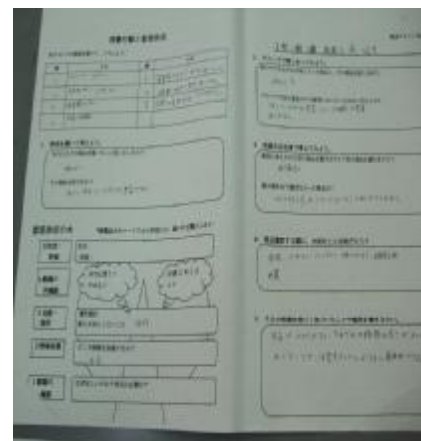
【商品選択で大切なこと】

- ・ アフターサービス
- ・ 本当に困ったとき(震災など)に助けてもらえる

【わかったこと・気付いたこと】

- ・ 本当にいるのか、何がいいのか、どこがいいのかを何度も見つめなおす。
- ・ よく考えて選択し、買う場所もパソコンでなく、実際に手に取って買うかどうかよく考える

努力を要すると判断される状況(C)と評価した生徒への手立て



【感想】

- ・ みんな発表が上手。これから買い物の参考にしたい。



自分が商品購入をする際に、何を優先し、参考にするか**具体的に考える**よう、指示する。

ワークシートによる評価の実例 1

・ 思考・判断・表現の評価規準

商品サービス購入の際、主体的な意思決定を考えまとめている

評価Aの生徒の記述例

- ・ 前までは見た目で判断していたが、ほかの班の発表を見ると画素数やネット回線など様々なものがあり、興味がもてた。いろいろな面から判断することが大切だと思った。
- ・ お金だけでなく違うところに関心がもてた。情報をしっかり持ったり欲しい理由をしっかりと考えるなど、次買うときはその所をしっかりと考えたい。

ワークシートによる評価の実例 2

【生徒の記述内容に変化が見られた例】

- ・ 女子に人気のかわいくて使いやすそうなもの。



- ・ グループの人の意見に納得した。いろいろ考えて購入しないといけなかったことが分かった。



- ・ 商品を購入するには、かわいさだけでなく機能やお金のこともしっかり考え、慎重に意思決定しようと思った。また、本当に必要かそうでないか判断し、商品選択の際にも、しっかり情報を集めようと思った。

成果と課題

- 指導と評価の計画を作成することにより
 - 具体的にその時間のねらいや評価が、はっきりした。
- 考えを深めるための指導の工夫により
 - 生徒は他者の意見を受け入れ、自分の考えを認識したり深めることができた。
- ワークシートの工夫により
 - 自分の考えをまとめたり、考え方の変化に気付くことができた。

終わりに

《課題》

- 生徒は、ともすると模造紙製作や発表に重きを置いてしまう。
- 発表はあくまでも一つのステップであり、ねらいやめざす方向性を、生徒にしっかり理解させる必要がある。
- ケータイを教材とした学習をきっかけにして、消費生活の現状と課題、消費者の権利と責任、今日の家計の課題等の学習に発展させる。